

(法第28条第1項関係様式例) ※事業報告書等提出用【定款に「その他の事業」が無い場合】

28年度 活動計算書

会計年度：28年1月1日～28年12月31日

(法人の名称：特定非営利活動法人食育体験教室・コラボ)

※科目、数値は例示で、太字は計算行です。

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	20,000	20,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0		
	0	0	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	100,000		
	0	100,000	
4 事業収益			
農業体験事業収益	15,000		
親子食育事業収益	58,000		
郷土食伝承事業	71,000		
ものづくり体験事業収益	7,000	136,000	
5 その他収益			
協賛金	50,000		
雑収益	0		
		50,000	
経常収益 計			306,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
講師謝礼(外部講師5回分)	50,000		
人件費 計	50,000		
(2) その他経費			
会議費	5,000		
旅費交通費	14,164		
料理教室会場費	5,000		
料理教室材料費	75,000		
農業体験おやつ代	11,566		
その他経費 計	110,730		
事業費 計		① 160,730	

2 管理費			
(1) 人件費			
イベント参加日当 (理事)	25,000		
人件費 計	25,000		
(2) その他経費			
文房具	1,500		
消耗品	25,000		
催事用品 (みそフェスタ経費)	18,000		
会費 (ながの協働ねっと)	3,000		
協賛金 (みそフェスタ協賛金)	10,000		
市民新聞広告代	5,000		
会費 (忍者をふやそう大作戦)	1,000		
振込手数料 (キッズ野菜ソムリエ)	648		
その他経費 計	64,148		
管理費 計		② 89,148	
経常費用 計			249,878
当期経常増減額			56,122
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
年度損益修正損			
経常外費用計		0	
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			56,122
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			56,122
前期繰越正味財産額			146,764
次期繰越正味財産額			202,886

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

1 平成24年度に改正施行された特定非営利活動促進法に伴う定款変更が済んでいない法人がこの様式を使う場合は、欄外に「当法人の『収支計算書』については、『活動計算書』と表記しています。」の記載が必要です。

2 活動計算書には、借入金等の資金収支は含まれません。

3 特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号。以下「法」といいます。)第2条第2項において、「特定非営利活動法人」とは、特定非営利活動を主たる目的として設立された法人であると定義されておりますので、例示の①の額が②の額より多くなっている必要があります。

なお、事業費と管理費の区分は、法人税法上の収益事業と非収益事業の区分とは異なりますのでご注意ください。

4 「次期繰越正味財産額」は、貸借対照表の「正味財産合計」と財産目録の「正味財産」と一致しなければなりませんので、必ず確認してください。